

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			設備基準を満たすスペースの確保ができていつ
	②	職員の配置数は適切であるか	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員研修や職員ミーティングにおいて業務改善の意識をもって取り組んでいる
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		多方面（医療、企業、福祉、教育）からの専門的な助言を支援にいかしている
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			外部・内部研修ともに専門的で質が高く資質の向上が図れる
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者が時間を気にせず連絡できるようにラインの活用も始めた
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			お互いの経験や知識を尊重し忌憚のない意見が言える環境が整っている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			各利用児に成長に応じた個別提供プログラムを準備している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			各種イベントや企業見学など計画的に設定している
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			平日の個別対応と学校休業日のイベントでの集団活動を組み合わせている
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			

⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了時に限定せず臨機応変に振り返りを行い、留意点の共有を図っている
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援報告書に支援内容だけでなく利用児の行動観察の状況を具体的に記録している

⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			常勤職員全員が責任者の有資格者でありレベルの高い支援が実施できている	
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			子どもの状況について事前に職員全員で打ち合わせをし、整理し集約したうえで児発管が会議に臨んでいる
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			スクールカウンセラーや養護教員、担任教諭などと必要に応じ連携を実施している
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	サービス利用の対象が小学校高学年以上であるため、就学前の情報は保護者や相談支援機関からの聴取を実施している
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			移行時のケース会議や移行後の定期的な情報共有でフォローアップ支援を行っている
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	実際に連携したケースはないが、連携の依頼をし体制は整っている
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			子ども食堂へのボランティア参加を定期的に実施し、イベントを共同企画している
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	保護者からの急な相談などで参加できないこともあるが基本的には参加している
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			口頭での会話だけでなく電話やラインなども活用し共通理解を図っている	

	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			個別相談や送迎時の待ち時間を利用して公認心理師が計画的にペアレントトレーニングを実施している
保護者への説明責任等	㉑	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			事前の見学や体験の際に個別に説明を実施している
	㉒	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的に保護者向けの勉強会を実施するとともに教員・就労支援責任者などの経験者や公認心理師が個別相談にいつでも応じられるようにしている
	㉓	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者も参加できるイベントを開催したり定期的な保護者の茶話会を開催したりしている
	㉔	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情窓口や責任者を明確にし体制を整えている
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		毎月、行事予定や活動プログラムを事前に連絡している。活動報告はInstagramを活用し発信している
	㉖	個人情報に十分注意しているか	○			
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			相談や説明は特性に応じた配慮を実施し一人ひとりにわかりやすい工夫をしている
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		子供マルシェでの販売体験などのイベントを開催し地域住民との交流を図っている
非常時等の対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			
	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回避難訓練を適宜実施している
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
	㉝	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			調理実習などに備え、サービス契約時のアセスメントで確認している

④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
---	----------------------------	---	--	--	--